

# ・秋田経済倶楽部・渋沢栄一記念財団竜門社秋田支部

令和5年度定時会員総会開催 ・7月20日 /パーティーギャラリー・イヤタカ



去る、7月20日（木）秋田市のパーティーギャラリー・イヤタカにおいて、秋田経済倶楽部、渋沢栄一記念財団竜門社秋田支部、2団体の令和5年度定時会員総会が開催された。

秋田経済倶楽部は、秋田市の経済人の会として昭和27年に創設され、東洋経済新報社の外郭団体（一社）経済倶楽部（昭和6年設立。初代理事長 石橋湛山）と同じく、金融等内外経済についての調査・研究を行い、会員相互の健全・親睦を図ることを目的とした組織である。秋田県内には当経済倶楽部のほかに能代と大館に同様の経済倶楽部がある。

渋沢栄一記念財団竜門社秋田支部は、渋沢栄一の経済理念に基づいた教えを伝える事業を支援する組織「竜門社」の秋田支部。「竜門社」は当時渋沢邸に寄宿していた青年たちの新しい世の中を創るための勉強会の名称で、財団としての発足は大正13年。秋田支部の発足は昭和28年10月で創立から70年となる。

経済倶楽部、竜門社とも秋田の経済発展に大きな影響を与えた団体であり、それらの運営は秋田県経営者協会が担い、毎月経済倶楽部会員には「経済倶楽部講演録」を、竜門社会員には「青淵」を配布しているほか、経営者協会と共催で講演会を毎年開催している。

定時会員総会では、「令和4年度事業報告、収支報告」、「令和5年度事業計画（案）、収支予算（案）」「役員改選（案）」が審議され議案は全て承認された。

「経済倶楽部講演録」

「青 淵」

